

防災特集号

船橋会事務所

〒156-0055 世田谷区船橋 1-40-6

会長 妹尾廣子

Tel/fax 03-6794-3145

編集 平野千晶

船橋会ホームページ

<http://www.funabashikai.com>

今後の予定

- 11月30日(土) ハッピーコンサート
船橋小学校
- 12月5日(木) 常会
船橋まちづくりセンター
- 12月15日(日) ちとふな商店街まつり
千歳船橋駅前広場
- 12月20日(金) 年末防犯パトロール
船橋町会全域
- 1月13日(月・祝) 新年会
未定

発災型防災訓練 実施

10月6日(日)午前10時、東京都下震度7弱の地震が発生したことを想定し防災訓練を実施しました。



スタンドパイプ取扱い訓練

自宅から近い一時避難場所(船橋2丁目公園、池田児童遊園、船橋4丁目ふれあい広場)へ集合し、消防署の方の指導によりスタンドパイプ取扱い訓練及び放水訓練、応急手当訓練などを行いました。



船橋小学校へ避難します。

その後、警察署の方の誘導により船橋小学校へ参加者全員で「避難」しました。こちらではD級ポンプ取扱い訓練や初期消火訓練、煙中訓練、応急手当訓練やマイコンメーターの復旧方法、耐震住宅についてなど多数のブースを参加者に自由に回ってもらいました。

最後には参加者に集合いただき泡消火器の実演を身近で見てもらい、消防署員・船橋会代表者による一斉放水で今年度の防災訓練を締めくくりました。

また同時刻、千歳船橋駅前広場でも訓練を実施しました。駅を利用する方、お買い物途中の方にも多数ご参加いただきました。

ご協力いただいた消防署をはじめとする各団体の皆さま、訓練に参加くださった皆さまありがとうございました。



泡消火器の威力を実演



一斉放水!!

来年度は皆さまからご要望が多かったスタンドパイプの取扱いを重点とした小規模の訓練の実施を検討します。

その他、防災訓練に関するご要望、ご質問などは船橋会事務所までご連絡ください。

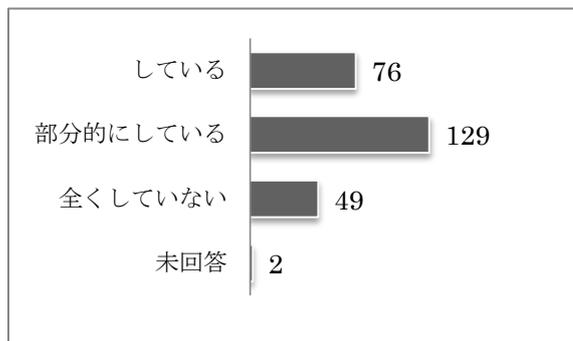
訓練の様子はホームページにも掲載しております。どうぞ、ご覧ください。<http://www.funabashikai.com>

防災訓練アンケート集計結果

あなたの日ごろの備えは？防災訓練に参加した方にアンケートを実施しました。参加者のうち、256名の方が回答くださいました。ご協力ありがとうございます！

集計結果の一部を紹介します。皆様のご家庭ではいかがでしょうか？

Q 自宅の家具転倒防止のための対策を講じていますか？

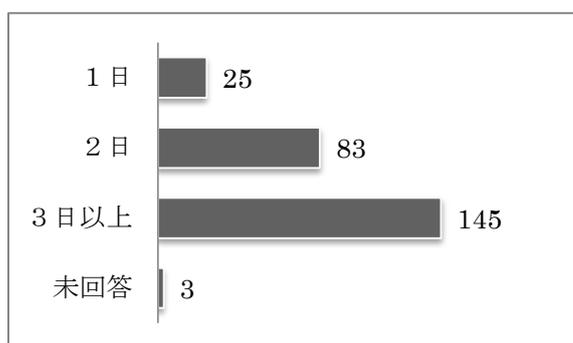


近年発生した地震でけがした原因を調べると、約30～50%の人が家具類の転倒などによるものでした。家具類の転倒は直接当たってけがをするだけではなく、つまずいて転んだり、割れた食器やガラスを踏んだり、避難通路を塞いだりするなど、いろいろな危険をもたらします。また家具類がストーブなどに転倒などして出火するなど、二次的な被害も引き起こします。

負傷を防止し、避難障害の発生を防ぐためには、家具転倒防止対策が非常に大切です。

＜東京消防庁ホームページ 安心・安全情報トピックスより＞

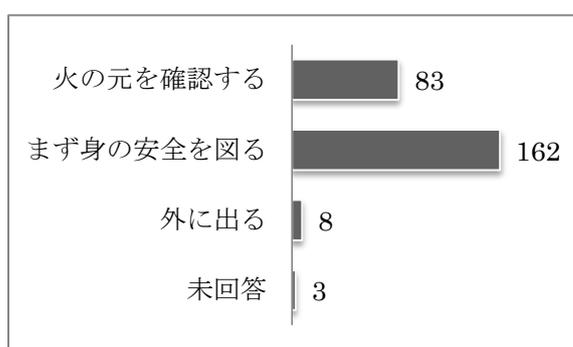
Q 自宅に買い置きしている食料で災害時に何日程度、暮らせるとお考えですか？



避難生活に備えて、ふだんから最低3日分の食料品は準備しておきたいものです。いつも新鮮な食品を無理なく準備する方法にローリング・ストック法(ランニング・ストック法)があります。この方法は、いつも買う2倍の量の米、水、レトルト食品、缶詰などを購入し、半分使ったら使った分と同じ量を購入するというものです。

＜世田谷区ホームページ 防災・災害対策より＞

Q 揺れを感じた時や緊急地震速報が流れた直後に、まずどのような行動を優先しますか？



地震が起きたときは、何よりも自分の命を守ること、そしてけがをしないことが大切です。地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう。

火の始末は揺れが収まってから行いましょう。激しい揺れの中で慌てて火を消そうとすると、転倒したり鍋のお湯をかけるなど、けがをする可能性があります。

＜東京消防庁ホームページ 安心・安全情報トピックスより＞

アンケートの最後に日頃の防災に関する考えを自由に書いていただいたところ、様々な声が寄せられました。

「人との協力が必要」「近所との連携」を改めて感じたとの声。そんな中、「訓練への参加が大変少ない」「地域住民の防災意識の低さを感じた」といった意見もありました。また「スタンドパイプの操作は多くの方に説明してほしい」「訓練は一年に二回実施」という訓練への前向きな意見もいただきました。

船橋会でもたくさんの方に参加していただけるよう、何度か回覧板を使って呼び掛けたり、掲示板にポスターを掲示したりしております。でも一番効果が高いのは住民同士の直接の声掛けだと感じております。

「自助」「共助」の大切さを理解していても、きっかけがなく訓練に参加できない方もいると思います。日頃より近隣でコミュニケーションを図り、声掛けして一緒に訓練に参加することも「共助」への一歩です。

今年度参加した方も、できなかった方も来年度の参加をお待ちしております。